

Hi! from SAGA

AUTUMN 2019 vol.1

BY
SUISA ニュースレターチーム
& 佐賀大学国際交流推進センター

SUISAについて

SUISAは佐賀大学学生国際交流会です。留学生会と間違える人もいますが、我々は参加したいすべての学生を歓迎しています。実際、主な目標は、留学生に日本人と留学生の友達を作ることです。



新留学生歓迎パーティー 秋2019

パーティーには83名の学生と43名の新留学生、SUISAのメンバー、SPIRAの方々、国際課の方々、そして佐賀大学の副学長の寺本先生のおかげもあり、およそ150名もの人々が参加してくれました。



佐賀の秋

10月18日と19日の週末には、佐賀大学と佐賀城周辺でさまざまなフェスティバルが開催されました。11月の第1週の間、学生はバルーンフェスタや唐津くんちを楽しむことができます。



◎ 佐賀市内で

佐賀大学祭
タイ祭り
佐賀さいこ



◎ 佐賀周辺

佐賀バルーンフェスタ
唐津くんち



◎ リトアニアからの手紙

留学生の学生生活



佐賀大学国際交流推進センター

+81-952-28-8169

ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

<http://www.irdc.saga-u.ac.jp/>





SUISA について

SUISA は佐賀大学学生国際交流会です。留学生会と間違える人もいますが、我々は参加したいすべての学生を歓迎しています。実際、主な目標は、留学生に日本人と留学生の友達を作ることです。SUISA は、共通の目標を持った友人のグループとして SUISA を開始しま

した。新しい留学生を佐賀へ温かく歓迎し、友人として留学生たちを支援し、可能な限り最善な方法で佐賀での新しい生活をサポートしています。2017年の秋に最初のイベントとして歓迎会を開催しました。それから2年が経ち、毎年恒例の行事として歓迎会を開催し、スポーツやピクニックなどのイベント等、活動を拡大しています。佐賀大学国際課の協力のもと、世界中にいる卒業した学生達と連絡を取り合うために「こんにちは from SAGA」を始めました。佐賀での温かい思い出を思い出し、懐かしく思って頂ければ幸いです。最後に、私たちは現在佐賀大学で勉強している学生の生活に役立つ、楽しめるイベントや経験に関する情報を提供します。



SUISA の活動の様子

新留学生歓迎会 2019

ウェルカムパーティーには83名の学生と43名の新留学生、SUISAのメンバー、SPIRAの方々、国際課の方々、そして佐賀大学の寺本副学長のおかげもあり、およそ150名もの人々が参加してくれました。受付が6時半から始まり、会場はすぐに人でいっぱいになりました。そしてしばらくして、私たちのパーティーはピームさんとアメリカさんの心温まる開催の言葉、スペシャルゲストの副学長の寺本憲功先生の激励のお言葉とともに盛大に始まりました。次に新留学生の代表として、ワイリーさん、リンペイチェさん、ミンジュンホさんにスピーチをしていただきました。学生たちが用意された食べ物やドリンク、

新しい友達との会話を楽しむ中、SPIRAと佐賀国際協会の代表の方々が彼らの活動について紹介されました。楽しい時間はあっという間に経過し、パーティの閉会を、来てくださった皆さんに感謝の気持ちを伝えると共に、あかつきさんの閉会の言葉で終了しました。



新留学生歓迎会 2019

佐賀の秋

秋で一番いい月である10月の、18日と19日の佐賀市内は普段よりも賑やかでした。涼しい秋の天気の中、老若男女が佐賀城の周り、佐賀大学に集まっていた。この二日間で3つの大きなイベントが同時に開催されていたからです。「アートで佐賀を再興し、人々に楽しさや感動を与える”最高”の佐賀をつくりだす」ということが、佐賀さいこうフェスのメインテーマでした。この二日間、カノエラナ、Freak、Beverly、レナ、トクヒサなどの有名なアーティスト達のライブパフォーマンスをはじめ、書道、ブランドデザイン、靴の絵などの様々なアートワークショップがあり、楽しむことができました。会場近くの城内通りや本丸通りでは、さが維新まつりが行われました。メインイベントとして、幕末期に活躍した佐賀出身の偉人の格好をした人々が、通りを行列と共に練り歩きました。参加者は100人以上で、当時佐賀の藩主であった、鍋島直正が登場したときは、会場は大きな歓声に包まれました。



タイフェスティバルの様子

佐賀さいこうフェスで疲れた人たちは、佐賀県立図書館横のこころざしの森で行われたタイフェスティバルで、ガバオライス・カオマンガイ・パッドボンカーリなどタイの名物料理や、ブアローイ（ココナツミルクなか団子）、カノムクロック（ココナツパンケーキ）などのタイのお菓子を食べながら休憩していました。MCは日本のテレビ番組で活躍しているタイ人タレントのブンシリさん（ブンちゃん）が担当していました。



学祭の様子

佐賀さいこうフェスとタイフェスティバルの会場からとても近い佐賀大学では、いつもと違って、学生たちの熱心な声が聞こえていました。その声の元は第22回佐賀大学大学祭でした。今年の学祭のテーマは「Hop」でした。平成から令和へと新しい時代に一歩踏み出すという意味が込められています。佐賀大学の本庄キャンパスのメインストリートには部活動・サークルなどが出店した屋台やパザーなどが並んでいました。例えば1日中食べ歩いていたとしても、近隣住民の方が飲食物以外のものを出店していた「がばイベント」を楽しむことができました。土曜日の昼、メインステージ前を歩いていると、大きな笑声が聞こえました。どうやらお笑い芸人のゴー☆ジャスとペンギンズがお笑いライブをやっていたみたいです。



佐賀国際バルーンフェスタ

10月末から11月の初めにかけ佐賀のみんなが待望している、佐賀国際バルーンフェスタと、唐津くんちが同時に開催されました。「バルーンを見るとどうして不思議な気持ちになるのかな」とずっと考えていました。しかし空へと舞い上がる100個のバルーンをみていると、幼い頃好きだった映画、小説、アニメ、例えば「オズの魔法使い」、「八十日間世界一周」、「カールじいさんの空飛ぶ家」を思い出し、それらにはバルーンが登場するため、自分を懐かしい気持ちにさせてくれるからという答えを、今年の「佐賀国際バルーンフェスタ」で見つけました。今年は10月31日から11月4日にかけて嘉瀬川河川敷で行われました。特別に設置された佐賀バルーン駅が、臨時営業していました。今年は競技バルーンだけではなく個性的で楽しいバルーンを含めておよそ115機が参加しました。特に今年の「バルーンファンタジア」ではミニオンの巨大バルーンが注目されました。

2日から4日までは、唐津でもう一つ有名な祭り「唐津くんち」が行われました。太鼓や竹笛の音が流れる中、獅、兜、亀、鯛など14台の「くんち」（曳山）が唐津の旧唐津市内一帯を巡り歩きました。地元の人たちが2トンから5トンほどあるくんち

を熱心に「エンヤ・エンヤ」、「ヨイサ・ヨイサ」、と掛け声をあげながら運んでいました。彼らの声を聴いていると、ついつい一緒に「エンヤ・エンヤ」と言って応援したくなりました。近頃、季節も変わり、段々と寒くなってきていますのでどうかお体に気を付けてお過ごしください。



唐津くんち

昨年のリトアニアからの留学生

オウシュラさんからの手紙

アウシュラ・ウルバナヴィチュイテ, SPACE E 2018 リトアニアより

佐賀での交換留学は、文化的、学問的に私の人生観を豊かにした経験だった。また、一生続いて欲しい友情を築くことができた。佐賀は、体験するべき豊かな文化を持つ素晴らしい都市である。素敵な公園、可愛いカフェ、佐賀市内のさまざまな文化イベントや祭りなどがある。他に、九州周辺にもたくさんのやるべきことや見るべき場所が多くある。食べ物も好きだった。佐賀大学の近くある小さな唐揚げレストランは、素晴らしい食事をするのに私の好きな場所の1つだった。大学の生活は本当によかった。佐賀大学の国際交流推進センターの人々も、大学の先生も、自分のチューターさんも助けになり、支援的で、質問にいつも答えてくれた。佐賀大学留学生間の緊密な縁やこの留学を通して作った日本人の友達、私の留学経験を驚くべきものにした。コーヒーを飲みながらの日常会話、九州周辺への週末旅行、試験のための勉強会など、素敵な人々と過ごす最高の時間だった。私は佐賀での留学経験に本当に感謝している



オウシュラさん（写真最左）とお友達

謝辞

丁寧にご指導して下さった、国際課の松尾 早貴さんと翻訳に手伝って下さった北村 美樹さんのご協力に心から感謝しています。

編集

ラミ・ダルベル、博士3年、建築環境デザイン学科。練単昂、学士4年、都市工学科。ジェフリ・アーディアンサー、修士1年、知能情報工学科。ビームマバット・プアラッパ、芸術地域デザイン学科。中島暁月、学士2年、芸術地域デザイン学科。